

令和5年度 新入学生徒教育課程

教科・科目等	年次	1	2	3	計	
	学級数	3	3	3	9	
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	②			2
		言語文化	②			2
		論理国語		*2	*2	4
		文学国語		*2	*2	4
		国語表現		②	②	4
		古典探究		*2	*2	4
		※現代文研究				2
		※文章表現				2
	地理歴史	地理総合		②		2
		歴史総合	②			2
日本史探究			△4	△4	4	
世界史探究			4		4	
公民	公民		②		2	
	政治・経済			2	2	
数学	数学Ⅰ	③			3	
	数学Ⅱ		4		4	
	数学Ⅲ			4	4	
	数学A	②			2	
	数学B			2	2	
	数学C			2	2	
	※数学活用		2		2	
	※数学探究			②	2	
理科	物理基礎		2		2	
	物理			4	4	
	化学基礎	②			2	
	化学		4		4	
	生物基礎		②		2	
	生物			4	4	
地学基礎	地学基礎			2	2	
	地学			2	2	
保健体育	体育	②	②	③	7	
	保健	①	①		2	
	※レクリエーションホーツA		2		2	
	※レクリエーションホーツB			2	2	
芸術	音楽Ⅰ	2			2	
	音楽Ⅱ		2		2	
	美術Ⅰ	2			2	
	美術Ⅱ		2		2	
	書道Ⅰ	2			2	
	書道Ⅱ		2		2	
	※刻字			2	2	
	※ペン習字		△2	△2	2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	⑤			5	
	英語コミュニケーションⅡ		④		4	
	英語コミュニケーションⅢ			②	2	
	論理・表現Ⅰ		2		2	
	論理・表現Ⅱ			2	2	
	※ハンゲル(a)		4		4	
	※ハンゲル(b)			2	2	
	※中国語(a)		4		4	
※中国語(b)			2	2		
家庭	家庭基礎	②			2	
情報	情報Ⅰ	②			2	

教科・科目等	年次	1	2	3	計	
	学級数	3	3	3	9	
主として専門学科において開設される各教科・科目	商業	ビジネス基礎		2		2
		マーケティング			2	2
		簿記		4		4
		財務会計Ⅰ			4	4
		原価計算			4	4
		情報処理		△4	△4	4
		ソフトウェア活用			4	4
	家庭	保育基礎		2		2
		保育実践			2	2
		生活と福祉			2	2
ファッション造形基礎			2		2	
ファッション造形				4	4	
看護	フードデザイン(a)		2		2	
	フードデザイン(b)			2	2	
看護	基礎看護			2	2	
	人体の構造と機能			2	2	
音楽	ソルフェージュ			2	2	
	器楽(a)		2		2	
音楽	器楽(b)			2	2	
	素描		△2	△2	2	
美術	絵画			2	2	
	ビジュアルデザイン			2	2	
情報	情報デザイン			2	2	
	※産業社会と人間	②			2	
総合	※課題研究			①	1	
	総合的な探究の時間		②	①	3	
自立活動	自立活動	☆1	☆1	☆1	☆3	
日本語指導	日本語指導	☆	☆	☆		
単位数合計		29(30)	29(30)	29(30)		

- 注1:教科名・科目名の「※」は、学校設定教科または学校設定科目を示す。
- 注2:科目の単位数で、「○」が付されているものは、その年次の生徒全員が履修する科目の単位数、「○」のないものは選択科目の単位数を表す。
- 注3:「*」は2・3年次で継続履修の選択科目の単位数を示す。
- 注4:「△」は2・3年次のいずれかで履修することを示す。
- 注5:表中において線で結んだ科目は、その中で選択することを表す。
※数学については、「数学Ⅱ」2単位と「数学活用」2単位のいずれかを選択した上で、コースによって「数学Ⅱ」2単位をあわせて履修する。
- 注6:2年次で10単位、3年次で16単位、各年次で選択可能な科目から選択する。
- 注7:それぞれの科目の「Ⅰ」を履修した後に「Ⅱ」を選択する。
- 注8:「a」は生徒の1年目の学習講座、「b」は2年目の学習講座を示す。
- 注9:受講希望者が僅少の場合開講しない(科目別単位数の欄が0になっている科目)。
- 注10:1コマ分の年間総授業時数(50分×35単位時間=1750分)
- 注11:理科は、2・3年次において、「物理基礎」「地学基礎」のうち、1科目を必ず履修する。
- 注12:「物理」は「物理基礎」を履修した者のみが選択できる。
- 注13:「保育実践」は「保育基礎」を履修した者のみが選択できる。
- 注14:「ファッション造形」は「ファッション造形基礎」を履修した者のみが選択できる。
- 注15:「総合的な探究の時間」の名称は「Wise Person21」としている。
- 注16:「自立活動」は学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障害に応じた特別の指導であり、1～3年次において、最大3単位の履修が可能である。単位は増加単位による認定である。
- 注17:「日本語指導」は学校教育法施行規則第86条の2に基づく特別の指導であり、生徒の実態に応じて実施する。単位は増加単位による認定である。